



『演歌の衰退と関係人口』  
十数年前、演歌の衰退の原因は「故郷に錦を飾る」という心情の喪失が関係云々と、故上谷元議長と議論したことを10月13日の第84回全国都市問題会議の講演で思い出しました。それは、田中輝美（島根県立大学地域政策学部）准教授の「地域との新しい関わり方・関係人口」という講演で、自由を求めて地方から都市へ移動した第一世代（故郷を持たない故郷難民とも称する世代となり、こ

の中の故郷つながりを求める層が身銭を切って地域課題の解決のために地域に関わるという関係人口のベースとなっているというものでした。故郷の喪失は、新たに「故郷やわた」が創出される旨のことを考えていた私には、関係人口にまでは思いが至りませんでした。上谷氏は、彼が「八幡まるごとミュージアム」構想の中で捉えていたと思います。いづれにいたしましても「ふるさとやわた」づくりのためにも、男山緑地景観保全事業（3面に詳細記事あり）に取り組んでまいります。

令和3年度の主な事業

- ◆新庁舎整備事業
- ◆日本語指導ボランティア養成講座
- ◆さくらVRの制作による「背割堤」の魅力発信
- ◆わかたけ保育園の園庭の天然芝生化
- ◆第3次八幡市環境基本計画の策定
- ◆市内特産品をやわたブランド「ヤワタカラ」として認定
- ◆橋本駅周辺拠点整備事業
- ◆スケートボードパークの整備
- ◆八幡市防災アプリの運用
- ◆GIGAスクール構想
- ◆橋本小学校および南山小学校の屋内運動場で空調設備等を整備
- ◆文化センター1階および4階のトイレ改修等

新型コロナ対策事業

- ◆公共交通事業者等への支援金
- ◆住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業
- ◆子育て世帯生活支援特別給付金
- ◆陽性者の自宅療養支援のため食料品等の配送
- ◆水道の基本料金の減免
- ◆八幡おうえん飲食券 など

財政課

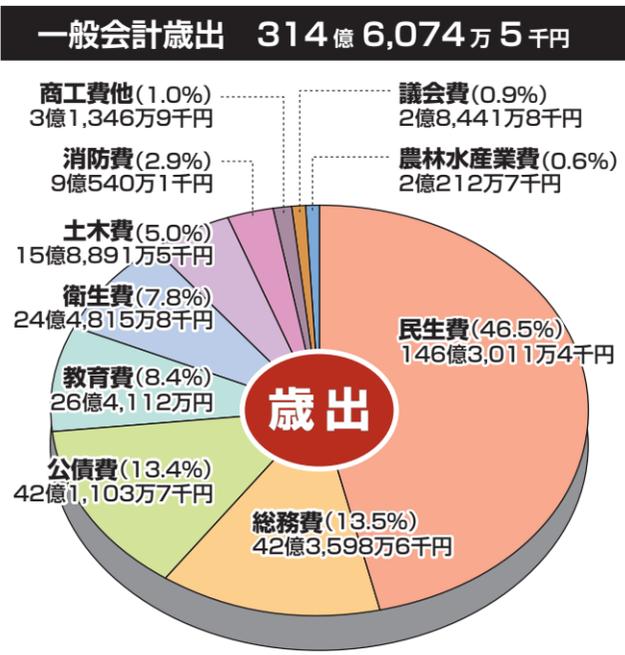
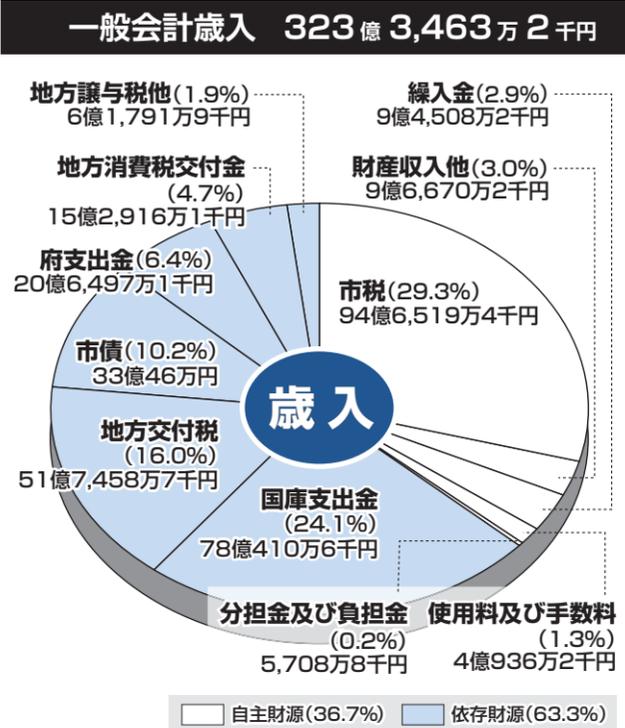
(☎983・1697)

財政状況  
人口減少や少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、増収が見込めない状況です。さらに、社会保障関係経費の増加をはじめ、公共施設の老朽化・防災対策の促進、就学前施設の再編など、多くの財政需要が見込まれていることから、引き続き、持続可能な財政運営に努めてまいります。

議案等を原案どおり可決

市議会 第3回定例会

9月2日に開会した令和4年八幡市議会第3回定例会は、市が提出した議案等をすべて認定・可決・同意し、10月12日に閉会しました。最終日となった10月12日には、9月5日に追加提出された令和3年度決算の認定に関する議案8件、9月22日に追加提出された男山緑地景観保全事業（※）に関する議案1件、10月12日に追加提出された物価高騰緊急支援事業（緊急支援給付金、家計支援給付金）に関する議案1件の採決を行い、すべて認定・可決されました。 ※3面に詳細記事あり。



令和3年度一般会計等の決算状況をお知らせします。  
令和3年度の一般会計決算額は、歳入323億343万4千円、歳出314億6074万5千円（前年比13.6%減）、歳入歳出差引総額は8億7388万7千円です。歳入歳出差引総額は前年度より7千円増え、翌年度に繰越すべき財源4439万円を差し引いた実質収支額は8億89万7千円減少しました。歳入は、前年度と比較して地方交付税が14億562万7千円増えるなどしましたが、国庫支出金が58億1854万4千円、市債が13億2689万9千円減るなど、歳入全体で50億9889万7千円減少しました。歳出は、前年度と比較して、民生費が19億3470万7千円、公債費が17億575万9千円増えるなどしましたが、総務費が84億2988万3千円減るなど、歳出全体で49億4306万6千円減少しました。

◆令和3年度会計別決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引
一般会計	323億3,463万2千円	314億6,074万5千円	8億7,388万7千円
特別会計			
休日応急診療所	2,076万円	2,071万9千円	4万1千円
駐車場	804万7千円	733万7千円	71万円
国民健康保険	76億4,932万6千円	75億2,595万9千円	1億2,336万7千円
介護保険	60億6,760万6千円	59億5,754万7千円	1億1,005万9千円
後期高齢者医療	20億2,723万2千円	19億9,778万6千円	2,944万6千円
計	481億760万3千円	469億7,009万3千円	11億3,751万円

今月号から本紙の書体をUDフォントに変更しています



市制施行45周年を記念し、今月号から広報紙の書体を、多くの人に読みやすいように作られた「ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）」に変更しています。UDフォントは、次の3つを主眼に置いて作られた書体です。  
①文字の形が分かりやすい  
②文章が読みやすい  
③読み間違えにくい  
シルエットの似た文字（数字の「3」「8」など）が判別しやすくなり、濁点など（「ば」「ぱ」）の区別がつきやすいことなどが特徴です。

秘書広報課 (☎983・1087)